

The285th Programming Deliberation Committee

第285回番組審議会 議事録

開催日 2025年2月18日（火）

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『MUSIClock+』

放送日時：2025年2月7日（金）7:00～8:50

DJ：山崎あみ / マツモトクラブ

会社からの説明

本番組は、2021年4月にスタートし、毎週月曜日から木曜日の朝7時から生放送していた音楽バラエティ『MUSIClock with THE FIRST TIMES』の後継番組です。

前身番組は2024年9月に一旦終了となりましたが、音楽とお笑いで元気と笑顔をお届けするというコンセプトに共感いただいた企業のサポートを得て、2024年11月に新たにスタートしました。在京ラジオ各局において情報番組が多く編成される時間帯で、「音楽バラエティ番組」としての立ち位置を確立させ、他局との差別化を図っています。

委員からの意見・感想

審議委員 A

番組の世界観があった。音楽とお笑いが融合されていて、また、パーソナリティが個性的でキャラクターが際立っているので、何かをしながらでも楽しく聴くことができるのではないかな。バラエティインデックスを1週間前に控えたこの放送回のメールテーマ「ブラックでビターなエピソード」やゲストのコメント、その他の番組内容がリンクしていて一貫性があったことも評価できる。スポンサーのコーナーもあったが、企業色が出過ぎることがなかったため嫌味を感じず、楽しむことができた。番組 SNS などを拝見するとファンベースができていると考える。イベントや事業展開、グッズ販売といったことを考えられるのではないかな。

審議委員 B

1 時間 50 分、おもしろかった。内容としては深く考えさせられるようなものではなかったが、どうして聴き続けられたのだろうと振り返ってみると、思わずメールを送りたくくなるような内容だったことが挙げられる。パーソナリティがよく噛むということに関しては、出演者や番組スタッフのフォローが行き届き、楽曲が流れるタイミングも良かったのではないかな。関わる全員が番組をおもしろくしようとしている姿が想像できたが、少し無理して笑い声をあげたり、テンションを上げたりしているように映った部分もあった。

#### 審議委員 C

おもしろかった。ラジオは有名人を出演させて人気を得るよりも、ラジオから人気が出て出演者が有名になる、ということがコンテンツとして重要だと考える。この番組で「マツモトクラブっておもしろいよね」と認知される道筋を作ることに注力するのはどうだろうか。各芸人さんの出演頻度を見極めてもいいかもしれない。番組のタイトルに「clock」が入っているので、リスナーに現在の時間のお伝えすると同時にお笑いのコンテンツとして成立する仕組みや仕掛けがあってもよいのではないだろうか。また、他局の出演者とのコラボレーションを図ってみることも提案したい。

#### 審議委員 D

長尺だったが、最初から最後まで楽しく聴くことができた。番組とリスナーの繋がりを感じられて素敵だと思った。前身番組が終了した際、リスナーが放送局まで番組継続の嘆願書を持参したという話を伺ったが、それだけ愛されている番組を皆で作ろうと和気あいあいとした雰囲気が伝わってきた。その中でパーソナリティが囁む回数が気になった。

#### 審議委員 E

マツモトクラブさんがおもしろかった。番組尺が長いため途中で疲れてしまったのも事実だが、しっかり音楽を聴かせてくれるという interfm らしさが出ていたのではないかな。  
今回の放送回を夜と朝、2 回聴かせていただいたが、朝に聴くのはちょっとしんどい部分があった。そこを音楽が救ってくれた。色々なジャンルの音楽が流れるところに魅力を感じた。

#### 一会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上